

大阪朝日「万博特集」

写真は朝日新聞 4月27日朝刊 12・13面である。紙面2面の半分ほどを使い、大阪・関西万博をピーアールしている。万博アンバサダー（大使？）に就任した指揮者の佐渡豊さんと関経連会長の松元正義さんが、万博像や期待を語っている。朝日デジタル紙面ビューアーで調べてみると、27日と28日の東京本社版と名古屋本社版には掲載されていなかった。大阪本社版の「万博特集」のようだが、どうも違和感を覚える。



大阪・関西万博の「夢」を特集するにしても、コロナ禍で万博をとりまく状況が一変していることも、マスコミとして報じるべきではないのか。写真下は同紙 24日朝刊 25面の記事である。小さな記事であり、思わず見落とすところだった。小さな紙面だが、大阪万博にとって重大なことが書かれている。この6月にフランス・パリで開催される予定だった博覧会国際事務局(BIE)総会が、コロナ禍で延期になった、と万博を所管する経済産業省が23日に発表した。

一見すると、このところの「延期話」の一つのようで、これが重大ニュースかと思われるかもしれない。だが、BIE総会で大阪万博「登録申請書」が承認され、はじめて公式にデビューできるはずであった。BIEは「感染流行が収束すれば、今年遅くに総会を開催したい」という意向のようだが、コロナの世界的流行が年内に収束するという見方は少ない。BIE総会で登録申請書が承認されないと、大阪万博は「仮免許」の状態が続くことになる。

「仮免許」のままでは、記事にもあるように、各国に参加を呼びかける招請活動が始められない。今年10月開催予定のドバイ万博も1年延期になった。せっかく大きな紙面を使って大阪万博を特集するなら、こんなことも当然触れるべきではないのか。

■博覧会国際事務局総会 延期

2025年大阪・関西万博について協議する予定だった博覧会国際事務局(BIE)総会が、新型コロナウイルスの感染拡大で延期になった。経済産業省が23日、発表した。日本が提出した開催計画「登録申請書」が承認される見通しだったため、開催準備に影響が出る可能性がある。総会は6月にフランス・パリで開催予定だった。経産省によると、BIEは「感染流行が収束すれば、今年遅くに総会を開催したい」との意向を示しているという。総会で登録申請書が承認されないと、各国に参加を呼びかける招請活動が始められない。

(2020年4月29日)